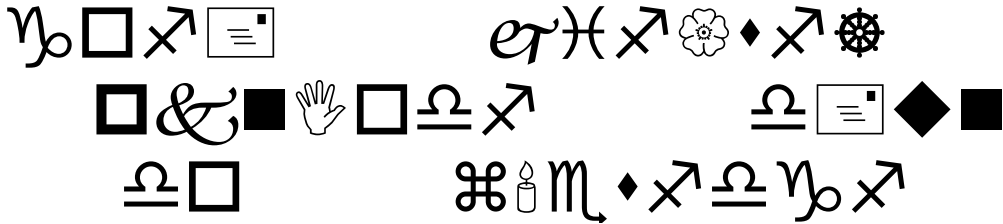


あけましておめでとございます



一昨年から続く世界的な新型コロナウイルスによる混乱は私たちの生活をすっかり変えてしまいました。ミランクラブの活動も中止や自粛が続き、活動による収入も減ってしまいました。理事会は現在 ZOOM ミーティングを取り入れ、会報印刷がある月だけ市民活動サポートセンターでの開催とされています。定期的に訪れていたネパールへの渡航も延期、中止となり今までにない影響を受けました。一昨年帰国した元里子アルチャナ・マナダールさんが帰国後ミランクラブの活動を手伝い始めてくれましたが、子供の誕生で今は休止しています。今年度のミランクラブの総会は昨年を引き続き書面表決で行い、新年会は中止とさせていただきます。私たち一人一人がコロナに感染しないことで暮らしを守っていくしかありません。今暫くはコロナで当り前になった生活様式を守って、ウィズコロナでいくしかないのかと思います。

さて、私たちの活動は今年で 34 年目に入ります。ミランクラブ発足の原点は、私が学生時代に東京渋谷でネパール語を教えたことから始まります。約 40 年前のことで、ネパール大使館から長野県にある青年海外協力隊の研修所でネパール語を教える人を探している話があり、私にも声がかかりました。でも当時、私はまだ学生だったので断りました。アトラス旅行社でネパール語を教えていたデベンドラ・サヤミさんが長野県に行くことになり、私がアトラス旅行社での勉強会を引き継ぎました。その後、東京赤坂でも公民館を借り教え始めました。渋谷の教室には会

員の村林さん、春日さん、赤坂の教室には宮崎さん、十川さんがいらっしゃいました。次にアドベンチャーロードという旅行会社からのネパール語教室でも教えました。日本にもネパールに関心のある方が大勢いると、その時、初めて知りました。この時の方々はミランクラブ発足当時からで一緒に活動を続けてくれていることに大変感謝しています。

ミランクラブは、このネパール語の勉強会の方々、知人の方々に集まってもらいボランティア団体としての趣旨に賛同を得て、1988 年に非政府組織 (NGO) として始まりました。2004 年には特定非営利活動法人 (NPO) ミランクラブジャパンとして登録、NPO 法人になってからは多くの団体からの支援も受けられるようになり、私たちの活動は幅広く多くの方々に知ってもらうことができました。

会員の皆様、今まで関わってくださった全ての方々に深く感謝しております。

私たちの活動は発足当初から一貫して日本とネパールが協力し合いボランティア活動を行ってきています。

『すべての女性に教育を！』をスローガンに、社会から取り残されている恵まれない孤児や母子家庭の女子への教育支援を行っています。

ネパールの社会では勉強をしたくても学校へ行けない女子、学校に入学するものの経済的理由から勉強を継続できない女子がまだ大勢残されています。特に農村部にこの傾向は強いのです。ネパールではカースト制度、宗

教や習慣などからの影響で女子への教育が後回しにされてしまいます。

ミランクラブ発足当初ネパールの識字率は非常に低い状態でした。私たちが教育支援を行い始めた 1990 年頃には女性の識字率は 9.15%で、2018 年には 59.72%に改善されました。私たちミランクラブジャパンもネパールの識字率向上に大きな役割を果たしたことに間違いのないと思っています。統計なので実際は多少の誤差があると思います。

皆様をご承知の通り、ミランクラブは差別されている女子の就学支援、自立支援を行っています。男女共同参画社会を目指しています。私たちの支援は必要とする女子に高校卒業まで途切れることなく奨学金を支援することです。安心して勉強を続けられるようにとの思いは今まで実行されてきています。

ミランクラブジャパンがネパールの女子に就学支援を行う主な理由は、以下のような問題があるからです。

- ◆ 未だ社会に男尊女卑の風潮が根強く残っており女性は教育の機会に恵まれていないこと。
- ◆ カースト制度による差別や偏見が未だに残っていること。
- ◆ 女性の地位が低いため現金収入の仕事がなく子供への教育は後回しにされること。
- ◆ 自分の意思を尊重されず、10代での出産により教育や社会進出から遠ざかってしまうこと。
- ◆ 教育を受けられなかった女性が母親になり、子供に教育の大切さを伝えられないこと。
- ◆ 弱い立場の女性への家庭内暴力、虐待や人身売買の存在があること。

ネパールの都市部では地方に比べ教育施

設も増え、教育への重要性も周知されてきている。しかし、多くは男性に対してのものになっています。昨今は海外からの影響もあり男女差別はなくそうと運動を行っていますが、農村部では未だに差別が根強く残っているのが現状です。

私たちの活動を知ってもらうため日本では様々なイベントに参加したり、独自の活動を行ってきていましたが、2021 年もコロナ自粛の影響で中止や縮小となりました。下記の活動を報告します。

#### ① 3月25日

さいたま市市民活動サポートセンター(浦和パルコ9階)にて「総会」開催。

「新年会」中止。

#### ② 年間のイベント

東京、横浜、埼玉の国際フェスタは新型コロナウイルス感染拡大防止のためにオンライン配信の募集があったが MCJ は出展しませんでした。

#### ③ 理事会

月一回の会場を借りての理事会はコロナ自粛の影響で 2021 年は 7 回行いました。書面会議が 1 回、また去年は新しく ZOOM での会議を取り入れた理事会を 2 回行いました。

書面での確認、議事録作成等を通して活動を維持しています。

次に私たちが行っている支援の現状を紹介します。

### 1. ミラン里子制度

ミラン里子制度は 1990 年から始まりしました。2021 年末での里親会員は 68 名(内、学生会員 1 名)、賛助会員は 4 名です。一般会員の年会費 15,000 円の内、12,000 円は利子の高いネパールの金融機関に預け、その利子からの教育支援を行っています。しかし最近

では年々利子が下がっていて、ここ数年は元本を取り崩しながら支援を継続しています。3,000円は国内活動費として使わせていただいています。

ミランクラブジャパンの奨学金支援は他の支援団体による短期間の支援と違い里子が自立可能な高校卒業(12年間)までとしているのが特徴です。又、高校を優秀な成績で卒業し、大学へ進学希望がある里子の場合にも特別里親を募り教育支援を行っています。

1990年に1人の里子から始まったこの制度は現在1,003名に達しています。

ミランクラブは毎年支援金で賄える範囲で新しい里子を受け入れていましたが、ここ何年かの会員の減少や、預金残高の目減りにより、支援希望者があるにも関わらず2019～2021年は新しい里子を決めることができませんでした。

奨学金制度が滞っている理由を下記に記します。

- ・会員数の減少
- ・円高による送金額の目減り
- ・支援金を預けている金融機関の利下げ
- ・短大2年間(10+2)が高等学校教育に組み込まれ、支援の対象となったこと
- ・コロナ禍で会場イベント中止の収入減
- ・日ネ両国の制度の厳格化

今まで支援を受けた里子たちの中には教員、会社員、エンジニア、医師、看護師等の職業に就き自立し、社会貢献を果たしている卒業生が年々増えています。また一方、結婚した里子たちも教育の大切さを、身をもって経験しているため、子供にも教育の大切さを伝え学校へ行かせています。

2019年以降は奨学金支給に小学校1年生から高校12年生まで800ルピー(約800円)支援しています。毎年のようにネパール国内では物価上昇が続き、暫く据え置かれていた

支援額を800ルピーから1500ルピーに上げてほしいとの要望は果たせないままになっています。学業を中断せざるを得ない里子が出ないように、今年こそは皆さんの賛同を得て、値上げに踏み切りたいです。

### 年度別支援里子人数

1名 1990年	1名 1991年	11名 1992-93年	19名 1994年
29名 1995年	23名 1996年	29名 1997年	27名 1998年
37名 1999年	45名 2000年	26名 2001年	31名 2002年
32名 2003年	118名 2004年	26名 2005年	54名 2006年
34名 2007年	42名 2008年	31名 2009年	35名 2010年
33名 2011年	46名 2012年	45名 2013年	69名 2014年
47名 2015年	44名 2016年	37名 2017年	31名 2018年
<b>総合計 1003名</b>			

### 里子の学年

学年		人数
小学校	1年生	0名
	2年生	1名
	3年生	0名
	4年生	9名
	5年生	23名
中学校	1年生	19名
	2年生	21名
	3年生	30名
高等学校	1年生	35名
	2年生	28名
10+1 10+2	1年生	21名
	2年生	18名
合 計		205名

成績優秀で高校を卒業した里子には特別里親を募り支援を行っています。

今まで特別里親の方には短大 2 年間の支援をお願いしていましたが、教育改革で短大（10+2）が高校に組み込まれ会費からの奨学金支援の対象となりました。今後の特別里親制度は大学 4 年間の支援となります。

### 年度別支援里子人数

地域別	人数
アチャム郡	8名
バグルン郡	6名
カブレ郡	1名
バラ郡	1名
バクタプール郡	1名
ドルカ郡	7名
グルカ郡	16名
フムラ郡	71名
カトマンズ郡	31名
ラリットプール郡	0名
ラムジュン郡	2名
ヌワコット郡	6名
ラメチャップ郡	7名
ロルパ郡	25名
シンドウパルチョコク郡	23名
合計	205名

### 特別里親による奨学生

現在、大学に通うミランクラブの里子たちは 14 名です。大学 3 年 11 名、大学 4 年 3 名です。昨年の SEE 試験を終えて大学に進学する里子は 14 名います。特別里親の支援をお願いする予定です。

支援金は 1 年目 5 万円、入学金や新しく揃える教材費がかかるので多めに設定してあります。2 年から 4 年生までは 3 万円になります。

### 2. ミラン職業訓練所

ミランクラブネパールの支部がある地方では定期的にコンピュータークラスを開いていましたが、コロナ禍の影響で全て休止となっています。コンピュータークラスは毎回人気で再開が望まれますが今後の見通しが立たない現状です。職業訓練のための支援

金は積み立てられています。

ー去年はラメチャップ郡、シンドウパルチョコク郡、ドルカ郡のコーディネーター、ブペンドラ・パクリンさんが、その地域で職業訓練を行いたいという要望がありましたが、コロナ禍のため活動はストップした状態です。最近ではネパールの物価も急激に上昇しており、職業訓練の種類にもよりますが、以前のような小さい額ではできなくなっています。

### 3. ミランダルマスタリ学校

今年、ミランダルマスタリ学校開校から 19 年目を迎えました。多くの生徒が高等学校 (SEE) を卒業し、大学へ進学しています。また留学する生徒も少数ですがいます。大学を卒業し自立できるようになり社会貢献を果たしています。ダルマスタリ学校の教師になっている元生徒も数名います。

### ミランダルマスタリ学校の学費一覧表

学年		女子	男子	学費 Rs/月
保育園	1 年	29	28	1,450
幼稚園	1 年	14	23	1,550
	2 年	15	22	1,600
小学校	1 年	19	18	1,650
	2 年	15	19	1,700
	3 年	13	25	1,800
	4 年	23	23	1,900
	5 年	16	22	2,000
中学校	1 年	15	20	2,150
	2 年	23	17	2,250
	3 年	10	23	2,500
高校	1 年	16	14	3,000
	2 年	15	12	3,500
合計		489 名		

ネパール教育省の登録方針の下、保育園、幼稚園、小学校 1 年生～高校 10 年生まで全校生徒は 489 名 (女子 223 名、男子 266 名)、教職員は 25 名 (女性教員 15 名、男性教員 6 名、女性職員 2 名、男性職員 2 名) です。

学校ではクラブ活動として音楽、ダンス、英会話、空手等の活動を行っていましたが、コロナ禍のため休部となっています。

学校は奨学金制度も設けており現在 84 名が支援を受けています。奨学金の種類は全額、半額、20%、30%免除があります。学費は経済的に恵まれていない子供たちも学べるよう、他の私立学校から比べると約 2 分の 1 の安さで、公立学校から比べても安くなっています。

ミランダルマスタリ学校はカトマンズから約 7km のところダルマスタリ村にあります。カトマンズ周辺では遅れている地域だったためミランクラブが学校を開校する場所に決めました。

ネパールでは学校の評価は、難関である全国統一高等学校卒業試験（SEE）にどれだけ生徒が良い成績を残せるかで決まります。グレードは A+ から E まであり、ミランダルマスタリ学校は都会から離れたところにも関わらず、2020 年も全員 A+ から B の優秀な成績を残すことができました。コロナ禍のため統一試験は行われず、学校の成績と先生からの評価でグレードが決まりました。2021 年の SEE 試験はどのようになるか未定です。

2021 年前半の授業は ONLINE クラスが中心で行われ、後半、徐々に通常の授業ができるようになりました。

コロナワクチン接種に関して、先生方の 3 回目が予定されています。また 12 歳以上の生徒たちも学内で行う予定となっています。

現在、学校では以下のことを守って授業を行っています。

- ① 入校時体温測定
- ② 手をアルコール消毒
- ③ ロマスクとフェイスマスクの着用
- ④ ソーシャルディスタンスを守る
- ⑤ 校内で保健室設置
- ⑥ 密にならないよう休み時間をずらす

学校はまだまだ設備等は不足していますが、既に Wi-Fi も設置されていて外部との連絡は大変便利になっていますし、IT の授業ができるよう 3 年前に設置された 30 台のパソコンは有効活用されています。昨年からは運動場の整備も始まりました。



また校内セキュリティ対策も整備して、インターネット上で監視カメラの映像が見れるようになっていました。学校紹介のホームページも常時更新しています。

(<http://www.milanschool.edu.np>)

#### 4. ミラン図書室

学校校舎のすぐ隣に図書室があります。元里子のスミトラ・アディカリ先生が管理しています。先生は心臓の持病があり、12 月に 3 回目のペースメーカー交換手術を受けたばかりです。



入院中のスミトラ先生